

# 令和6年度 第3回 まつやま人口減少対策推進会議

## 運営幹事会 議事概要

### (1) 開催日時・会場

開催日時：令和6年8月29日（木）10：30～11：30

場 所：松山センタービル 1号館 4階第1会議室

### (2) 出席者

「令和6年度 第1回 まつやま人口減少対策推進会議 運営幹事会 出席者名簿」に記載のとおり

### (3) 議事

1. デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）の効果検証について
2. 次期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について
3. 令和7年度以降の官民連携の推進体制について
4. その他

### (4) 議事概要

#### 1. デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）の効果検証について

- ・デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）の効果検証結果について事務局から説明。

（意見）

- ・「労務改善を実施した企業数」について、具体的な取組の中身がわからないと企業数の取り方が適正かの判断が難しい。

#### 2. 次期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

- ・次期総合戦略の策定について事務局から説明後、意見交換。

（質疑・意見）

- ・市民の実感指標の中で具体性に欠けるものが見られる。

⇒市民の実感指標は、政策単位でまちの状態を測るものであり、分野別の指標として具体的になりすぎないようにと考えている。

- ・こどもの実感指標は取らないのか。

⇒市民意識調査は、市の施策に関する内容を含むため18歳以上を対象としている。来年4月よりこども計画が施行となり、小学5年生～高校3年生を対象としたアンケートを実施する予定があるため、様々なデータを共有しながら検討を行っていく。

- ・人口減少対策の要となる産業政策について、市場縮小や産業衰退への懸念に対し、既存産業へのアプローチやIT、デジタルの活用など、どのような対策を取っていくのかの答えも必要ではないか。

### 3. 令和7年度以降の官民連携の推進体制について

(意見)

- ・ローカルな人口減少対策は SDGs の取り組みと矛盾する場合もある。人口減少対策としてまだ成長戦略を書く必要もある一方で、SDGs は人口が減っても良しとする方向に行くと思う。
  - ・SDGs のゴールの達成を目指すことで、人口減少問題の解決に近づけることができる部分もある。具体的な事業展開として、既存の仕組みをブラッシュアップして、より良い形を考えていく必要がある。
  - ・男女の賃金格差の解消に取り組む国の動きもあり、賃金格差の解消、男性のケアワークへの参画、女性管理職の増加など、ジェンダーギャップ解消の取り組みも重要。
  - ・プラットフォームの運営や仕組みの作り込みが重要となってくる。民間の連携が促進され、それを公が応援するような取り組みができると良い。
  - ・松山市のこれからを考え、新しいチャレンジを行いながら、しっかり議論できるような運営ができると良い。
- ⇒運営や仕組みについては作り込みが必要。官民でどのようなつながりを持てるかも模索していきたい。
- 市役所にモノを申すだけの会議ではなく、社会的に大きな2つのテーマについて、答えのないものを探すことにもなる。どのようなことに取り組んでいくのか、スタートの段階でしっかりと設定しておくことが重要。
- ・官民で同じものにコミットすることは難しい。動きは違っても、多様性の中で向かう方向のすり合わせをしていくことも大事な役割。